



橋元才平翁記念 第19回ファミリーコンサート

金子みすゞ 詩の世界

遠藤真理氏と仲道祐子氏を招聘し、美しい言葉と音楽で金子みすゞの詩の世界を表現するコンサートを開催しました。

みすゞの詩を歌う下関少年少女合唱隊と、みすゞの出身地・長門市のみすゞ少年少女合唱団がコラボした楽曲は、クラシックファンのみならず、みすゞファンの方にも大好評でした。

またこの年も、市民会館の耐震補強工事のため、ドリームシップで開催しています。

開催日：平成29年（2017年）3月12日（日）

会場：ドリームシップ 海のホール

出演者：遠藤真理（チェロ）

仲道祐子（ピアノ）

原田かおり（朗読）

共 演：下関少年少女合唱隊

みすゞ少年少女合唱団



橋元才平翁記念第19回ファミリーコンサート

金子みすゞ 詩の世界

美しい言葉と音楽の妙なる出会い
クラシック音楽と金子みすゞの詩のコラボレーション

プログラム

「私と小鳥と鈴と」
「こだまでしようか」
「大漁」 ほか

シューマン…「子供の情景」から
「見知らぬ国と人々について」
「トロイメライ」
ピアソラ…「リベルタンゴ」
ラヴェル…「亡き王女のためのパヴァーヌ」

エルガー…「愛の挨拶」
プロコフィエフ…「チエロ・ソナタ」より
「第2楽章」
「第3楽章」
吉松隆…「桜の下…紀行」
ショパン…「子犬のワルツ」
サン＝サーンス…「白鳥」
メンデルスゾーン…「チエロ・ソナタ 第2番」より
「第1楽章」 ほか

※曲目は変更になる場合がありますので、
あらかじめご了承ください。



©中山かつみ

遠藤真理(チェロ)



©武藤 章

仲道祐子(ピアノ)



下関少年少女合唱隊



みすゞ少年少女合唱団



原田かおり(朗読)

[パーソナリティー、ナレーター]



金子みすゞ
(写真提供)
金子みすゞ著作権保存会

2017
3/12 日 開演14:00
(開場13:30)

ドリームシップ海のホール(下関市生涯学習プラザ)

チケット発売日

12月17日(土)

プレイガイド

ドリームシップ、下関市民会館、下関市役所売店、シーモール「ラン」、
アブニール(菊川)、ローソンチケット(Lコード61374)、チケットぴあ(Pコード455-606)

全席自由

大人……………2,500円
高校生以下……………1,000円

※財団友の会は大人券のみ2,300円
※当日は大人券のみ200円増 ※4歳以下入場不可

金子みすゞの詩の世界

現代の日本人の心に身近で自然な言葉で語りかける金子みすゞの詩とクラシック音楽。

それぞれが持つ“語りかける力”は互いに響き合い、美しい言葉と音楽との出会いは、聴く者の心をほっこりと包み込むことでしょう。

Profile



遠藤 真理
Mari Endo (Cello)

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「ブラハの春」国際コンクール第3位(1位なし)、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。2009年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

2007年ザルツブルクのモーツァルトウム音楽大学マギスター課程を満場一致の最高点で卒業。アンサンブル金沢、大阪フィル、札幌響、読売日響、都響など国内主要オーケストラに招

かれ、小林研一郎、飯森範親、ゲルハルト・ボッセなど著名指揮者と、またウィーン室内管、ブラハ響、ザルツブルク・ゾリステンらと共演するなど、国内外で高い評価を得る。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」の「龍馬伝紀行(第三部)」で音楽を担当。同曲が収録された「Cello Melodies 龍馬伝紀行Ⅲ」をはじめ3枚のソロアルバムと、川久保賜紀(Vn)、三浦友理枝(Pf)とのトリオ・アルバムがリリースされている。

現在NHK-FMのクラシック音楽番組「きらくら!」(毎週日曜日/全国放送)にてパーソナリティとして朗らかな語り口のトークで好評を博しているほか、お話し付きの子ども向けコンサートにも力を注ぐなど、多方面で活動の幅を広げている。

オフィシャル・ウェブサイト: <http://endomari.com>



仲道 祐子
Yuko Nakamichi (Piano)

心に染み入る情感豊かな音楽性と暖かい音色を持ち味とし、聴衆に愛されるピアニスト。

金原美津子、安倍紀子、故中島和彦の各氏に師事。アメリカにてシルヴィア・ミューリング氏に師事。

桐朋女子高等学校音楽科に進み、卒業後渡独、クラウス・シルデ氏に師事。ミュンヘン国立音楽大学、同大学院ピアノ科及び室内楽科を卒業。ドイツを拠点にソロ活動を行う。

コンクールでは、第36回全日本学生音楽コンクールピアノ部門中学校の部全国第1位。アドルフ・L・アブレダ国際ピアノコンクール最高位第2位。第37回マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第2位及び特別賞。第10回ロベール・カサドシュ国際ピアノコンクール第3位。

1996年5月、紀尾井ホールでのデビュー・リサイタルで、日本での本格的ソロ活動を始め、現在はリサイタルの他、著名なオーケストラと共演しているのをはじめ、室内楽の分野でも活躍している。

また最近では、朗読とのコラボレーションなど多彩な活動を行っている。これまでに、ビクターエンタテインメントより「センプリーチェ」「モーツァルト／トルコ行進曲」「ムーンライト・ソナタ」「誰かが私を愛してる」「愛の挨拶」「ピアノ愛奏曲集」の6枚のCDが発売され、いずれも好評を得ている。

大阪芸術大学演奏学科教授。



原田 かおり
Kaori Harada (朗読)
[パーソナリティ、ナレーター]

KRY「熱血テレビ」「お昼はZENKAI ラヂオな時間」「おはようショッ!ゴルフざんまい」出演中。日本放送文化大賞グランプリ受賞作品、山口放送「奥底の悲しみ～戦後70年、引揚げ者の記憶～」ナレーション担当。

「明るく仲良く元気良く」をモットーに、テレビでは体当たりレポートから、落ち着いたナレーションまで、ラジオではリスナーの方々と井戸端会議をするよ

うな感覚を大事にお喋りしています。



下関青少年合唱隊

代表・指揮／能野則之
ピ ア ノ／藤井亜希子

「美しいものを大切にします」「いつも明るく合唱練習を楽しみます」「隊員として恥ずかしくない態度で行動します」「歌をとおしてみんなきょうだいで」この4つの隊則のもと、昭和40年の発足以来51年間歌い続けてきました。毎年春・秋の定期公演をはじめ、過去8回の東京公演や、アメリカ・中国・韓国への海外公演も行っています。2001年に「サントリー地域文化賞」を受賞。「釜山国際コンペティション」では2006年に銅賞、2016年にはベストマナー賞を受賞しました。また、山口県出身の金子みすゞさん、まど・みちおさんの詩に音楽を付けたオリジナル曲や、合唱隊の隊則を元に作られた合唱組曲「四つの約束」を発表するなど、下関から全国への文化発信を積極的に行っています。隊員は現在、2歳児から大学生までの約90名で、年間約40回の行事を中心に、まさしくきょうだいのように楽しく過ごしています。



みすゞ青少年合唱団

平成2年に長門市仙崎出身の童謡詩人・金子みすゞの詩を歌声のにせて広めようと結成された合唱団です。みすゞ墓前祭、仙崎みすゞ七夕まつり、長門市ふるさとまつりなどに出演の

ほか、毎年演奏会をおこない合唱ミュージカルにも挑戦しています。今回は「サウンド・オブ・ミュージック」を再演します。また、2016年7月29日には、岸和田市青少年少女合唱団のみなさんと合同で、作曲家のなかにしあかねさんの作品、金子みすゞの詩による同声合唱曲集「このみちをゆこうよ」を委嘱初演しました。みすゞさんのやさしいまなざしに見守られながら、みすゞさんの心を大切に、歌声を通して友達の輪を広げよう、そして長門市の素晴らしいさを伝えていこうと、小1から高3までのメンバーで活動しています。

橋元才平翁とFamily Concert

戦前より下関で事業を起こし東京にも進出した実業家。下関を愛し、下関の文化振興に寄与したいと、下関市民会館建設に多額の寄付を行い、その開設に貢献し、あわせて会館の維持と有効利用のため更に私財を基金として財団法人下関市民会館協力会(現一般財団法人下関市民会館協力会)を設立した。ブロンズ像13体を設置するなど施設環境整備に尽力。1974年紺綬褒章受章。1997年82歳で他界。青少年が文化に親しんで欲しいと氏の遺志を、一般財団法人下関市民会館協力会の事業として、国内外で音楽活動を展開している一流アーティストに、地元の小・中学校及び高等学校の児童、生徒と一緒に出演していただき、手作りのしかもご家族と一緒に楽しめるコンサートとして、(一財)下関市民会館協力会と(公財)下関市文化振興財団との共催により毎年1回開催しており、今年で19回目を迎える。